

地域の特別支援学校としての役割

校長 遠藤 邦子

校舎の前のパンジーが、色とりどりに咲き、学校生活が活発に動き出してきました。

潟上市追分にある天王みどり学園は、男鹿・潟上・南秋地区での特別支援教育についてのセンター的な機能を担う特別支援学校として、周辺の幼稚園や小学校・中学校・高等学校と連携してその役割を果たすために、本校では分掌部に地域支援部を組織として位置づけ、教育専門監、教職員が全校体制で取り組んでいます。

国の動きでは、昨年1月に、「障害者の権利に関する条約」が批准され、インクルーシブ教育システムを構築するために、小学校・中学校の通常学級、通級指導教室、特別支援学級、特別支援学校と、多様な学びの場で特別支援教育を進めることが必要とされています。

このことを踏まえると、本校は特別支援学校としての高い専門性をもってセンター的機能を発揮していかななくてはならないと考えます。特別な支援を必要とする子どもたちが、授業が分かって学習活動に参加し、充実した時間を過ごし、生きる力を身に付けていくための支援について伝えていきたいと思えます。具体的には、一つは児童生徒への学習支援、教職員からの相談等を一緒に考えること、二つ目は教職員の研修への協力や情報・施設設備の提供をすること、三つ目は必要な関係機関の紹介やそれぞれの機関との調整役を行うこと等です。また、地域支援部通信『アシスト』は、紙面をとおして、授業づくりや有効な教材教具の紹介、さまざまな特別支援教育に関する情報等を発信していきたいと思えますので、ご活用いただければ幸いです。

今年度も、地域の特別支援学校として、また地域の一員としてよろしく願いいたします。

よろしく
お願ひします

平成27年度の 地域支援部のメンバーです

子どもたちの支援をはじめ、皆さんのニーズにお応えしながら、特別支援教育について一緒に考えていきたいと思っています。



主任
島津 憲司



教育専門監
加賀谷 勝



アドバイザー
船木 祐子



塚田 誠



加藤しほ子



菅原 研

天王みどり学園のセンター的機能

サポートメニュー



出前授業

障害理解や関わり方について、本校職員がおもむき授業をします。

平成26年度は、8校で15回の出前授業を行いました。

ボランティア養成講座

障害理解の講義や演習を行い、ボランティアを養成します。出前養成講座も行っています。

各地域の広報にも案内を掲載します。



地域の子どもたち 保護者の皆さん 先生方を支えます!!



職員研修会・実践研修

自校解決につながるように、ニーズに合わせた研修会に協力します。

平成26年度から地域の先生方を対象とした研修会、「きらきら塾」を開催しています。講師は、本校の加賀谷 勝 教育専門監で、研修会後には、個別のご相談にもお答えしています。

ミニ学校展・作品展

本校の学習の様子や作業製品などを展示・紹介します。

平成26年度は、地域の小・中学校や、道の駅、銀行、郵便局等でも展示を行いました。

☆ きらきら塾の予定 ☆

詳細は、決定し次第ご案内いたします。

<実施予定>

7/31 (金) 「発達障害の理解と支援」

9/11 (金) 「発達の気掛かりな幼児への支援」

10/2 (金) 「保護者への支援

～面談の実際～

詳しくは、リーフレット

「天王みどり学園のセンター的機能」も
ご覧ください。

お問合せは…

Tel:018-870-4611

Fax:018-870-4612

E-mail:midori-s@akita-pref.ed.jp

教頭 佐藤 博司

地域支援部 島津 憲司